

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

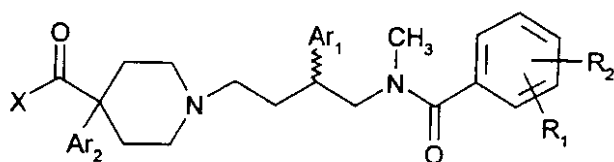
【公表番号】特表2002-515487(P2002-515487A)
 【公表日】平成14年5月28日(2002.5.28)
 【出願番号】特願2000-549591(P2000-549591)
 【国際特許分類】

C 0 7 D 211/64 (2006.01)
A 6 1 K 31/451 (2006.01)
A 6 1 K 31/496 (2006.01)
A 6 1 K 31/5377 (2006.01)
A 6 1 P 11/00 (2006.01)
A 6 1 P 11/06 (2006.01)
A 6 1 P 11/14 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)
C 0 7 D 401/06 (2006.01)
C 0 7 D 401/12 (2006.01)
C 0 7 D 401/14 (2006.01)
C 0 7 D 409/06 (2006.01)
C 0 7 D 413/06 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 211/64
 A 6 1 K 31/451
 A 6 1 K 31/496
 A 6 1 K 31/5377
 A 6 1 P 11/00
 A 6 1 P 11/06
 A 6 1 P 11/14
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 0 7 D 401/06
 C 0 7 D 401/12
 C 0 7 D 401/14
 C 0 7 D 409/06
 C 0 7 D 413/06

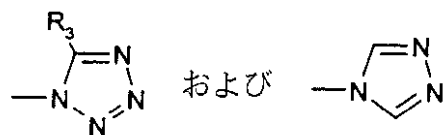
【手続補正書】
 【提出日】平成16年8月24日(2004.8.24)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】 式
 【化1】



〔式中、 R_1 はそれぞれ独立して水素、ハロゲン、 C_1-C_6 アルキルおよび C_1-C_6 アルコキシからなる群より選択される1～3個の置換基であり；

R_2 は水素、または

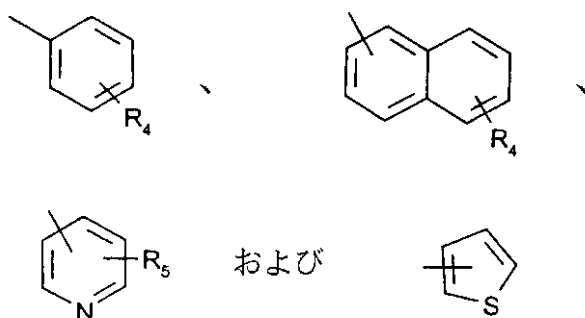
【化2】



（式中、 R_3 は水素、 C_1-C_4 アルキルおよび $-CF_3$ からなる群より選択される）からなる群より選択される基であり；

Ar_1 は

【化3】

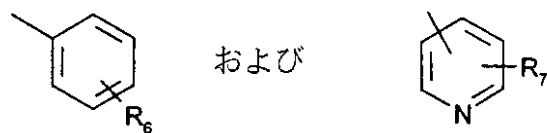


（式中、 R_4 はそれぞれ独立して水素、ハロゲン、ヒドロキシ、 $-CF_3$ 、 C_1-C_6 アルキルおよび C_1-C_6 アルコキシからなる群より選択される1～3個の置換基であり；

R_5 はそれぞれ独立して水素、ハロゲン、 C_1-C_6 アルキルおよび C_1-C_6 アルコキシからなる群より選択される1～2個の置換基である）からなる群より選択される基であり；

Ar_2 は

【化4】

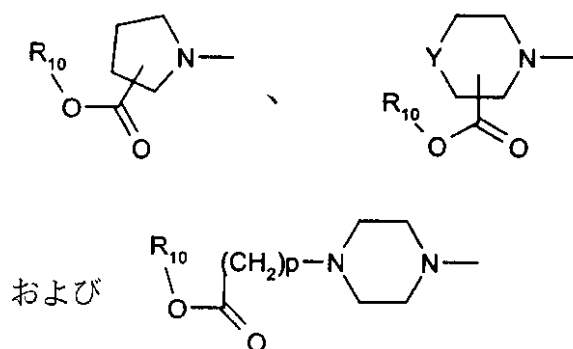


（式中、 R_6 はそれぞれ独立して水素、ハロゲン、 $-CF_3$ 、 C_1-C_6 アルキルおよび C_1-C_6 アルコキシからなる群より選択される1～3個の置換基であり；

R_7 はそれぞれ独立して水素、ハロゲン、 C_1-C_6 アルキルおよび C_1-C_6 アルコキシからなる群より選択される1～2個の置換基である）からなる群より選択される基であり；

Xは

【化5】



(式中、Yは—O—または—CH₂—であり；

pは1～4の整数であり；

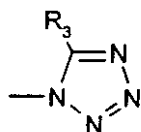
R₁₀は水素およびC₁—C₆アルキルからなる群より選択される）からなる群より選択される基である]

の化合物、その立体異性体および製薬上許容しうる塩。

【請求項2】 R₁は3,4,5-トリメトキシである請求項1記載の化合物。

【請求項3】 R₂は

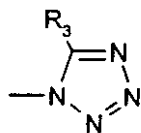
【化6】



(式中、R₃は水素である) 基である請求項1記載の化合物。

【請求項4】 R₁は2-メトキシであり、R₂は5-位の

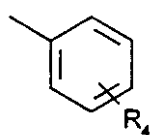
【化7】



(式中、R₃は水素である) 基である請求項1記載の化合物。

【請求項5】 Ar₁は

【化8】



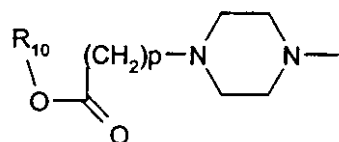
(式中、R₄は請求項1で定義された通りである) 基である請求項1記載の化合物。

【請求項6】 Ar₁はフェニル、3,4-ジクロロフェニルおよび4-フルオロフェニルからなる群より選択される請求項1記載の化合物。

【請求項7】 Ar₂はフェニルである請求項1記載の化合物。

【請求項8】 Xは

【化9】



(式中、pおよびR₁₀は請求項1で定義された通りである) 基である請求項1記載の化合物。

【請求項9】 pは1である請求項8記載の化合物。

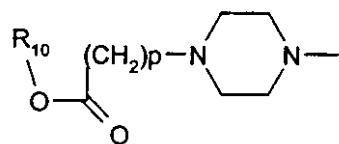
【請求項 10】 p は 2 である請求項 8 記載の化合物。

【請求項 11】 R_{10} は水素である請求項 9 または 10 記載の化合物。

【請求項 12】 R_{10} はエチルである請求項 9 または 10 記載の化合物。

【請求項 13】 X は

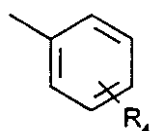
【化 10】



(式中、p は 1 または 2 であり、 R_{10} は水素およびエチルからなる群より選択される) 基である請求項 2、3、4、5、6 または 7 の何れかの項記載の化合物。

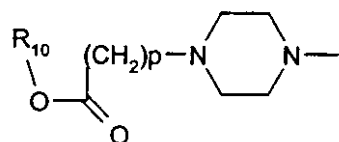
【請求項 14】 R_1 は 3, 4, 5-トリメトキシであり、 Ar_1 は

【化 11】



(式中、 R_4 は請求項 1 で定義された通りである) 基であり、 Ar_2 はフェニルであり、そして X は

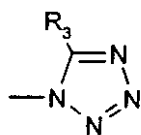
【化 12】



(式中、p は 1 または 2 であり、 R_{10} は水素およびエチルからなる群より選択される) 基である請求項 1 記載の化合物。

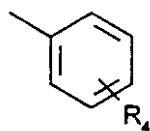
【請求項 15】 R_2 は

【化 13】



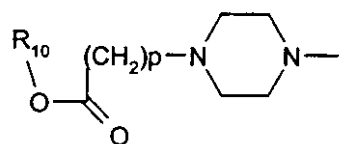
(式中、 R_3 は水素である) 基であり、 Ar_1 は

【化 14】



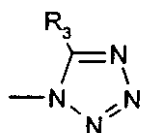
(式中、 R_4 は請求項 1 で定義された通りである) 基であり、 Ar_2 はフェニルであり、そして X は

【化 15】

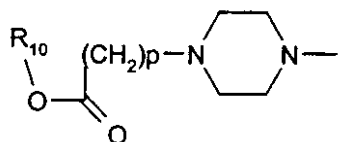


(式中、p は 1 または 2 であり、 R_{10} は水素およびエチルからなる群より選択される) 基である請求項 1 記載の化合物。

【請求項 16】 R_1 は 2-メトキシであり、 R_2 は 5-位の
【化 16】



(式中、 R_3 は水素である) 基であり、 Ar_1 はフェニル、3,4-ジクロロフェニルおよび 4-フルオロフェニルからなる群より選択され、 Ar_2 はフェニルであり、そして X は
【化 17】



(式中、p および R_{10} は請求項 1 で定義された通りである) 基である請求項 1 記載の化合物。

【請求項 17】 p は 1 または 2 であり、 R_{10} は水素である請求項 16 記載の化合物。

【請求項 18】 p は 1 または 2 であり、 R_{10} はエチルである請求項 16 記載の化合物。

【請求項 19】 化合物が (R)-または (S)-N-メチル-N-(4-(4-フェニル-4-((4-カルボエトキシメチルピペラジン-1-イル)カルボキサミド)ピペリジン-1-イル)-2-(3,4-ジクロロフェニル)ブチル)-2-メトキシ-5-(1H-テトラゾール-1-イル)ベンズアミドまたはその混合物である請求項 1 記載の化合物。

【請求項 20】 請求項 1 記載の化合物および製薬上許容しうる担体を含有する医薬組成物。

【請求項 21】 請求項 1 記載の化合物からなるタキキニン受容体アンタゴニスト。

【請求項 22】 喘息治療用医薬の製造における請求項 1 記載の化合物の使用。